

❀ 3月 奨学生会議 ❀

全国つどいに向けた学習会

～自分たちにできることは？～



3月17日、島根民医連の奨学生会議を開催しました。参加学生は2名。今回は、来週末に宮城県で開催される医学生の全国つどいへ向けた事前学習を行いました。助言者として一緒に参加して下さる松江生協病院の放射線技師の竹本さんをお招きし、震災支援についてや震災当時の被災地の様子をお話ししていただきました。竹本さんから、民医連だからこそ、一早く現場に駆けつけてそれぞれの得意分野で支援ができたこと、また学生に向けて、現地に行ったら、これから医師になった時に自分に何ができるのかを考えるきっかけにしてほしいとメッセージを送っていただきました。感想交流の中で参加した先生方からもご自身の経験をお話ししてもらい、色々な形で支援をすることができるのだと学びました。学生も、「実際に行くとテレビのイメージとは違って、感じるものがたくさんあると思う。しっかり自分の目で見て勉強してきたい。」と感想をあげ、つどいに参加する前にしっかりと意識を高めることができました。

震災から5年経ったいま、自分たちに何ができるのか。実際の被災地に行くことでたくさんのことを感じとってほしいと思います。

☺学生の感想☺

- テレビなどからの印象しか持っていないので、生で被災地の様子を見てきて感じるものを感じてきたいと思う
- 東日本大震災から5年経つということで特番がテレビでたくさん放送されていましたが、やはり自分で見てみたいと実感ができないと思う。まずは正しく理解するところからはじめていきたい。実際の現場を見たり、現場の声を聞いて勉強し、何かを持ち帰りたいと思う